

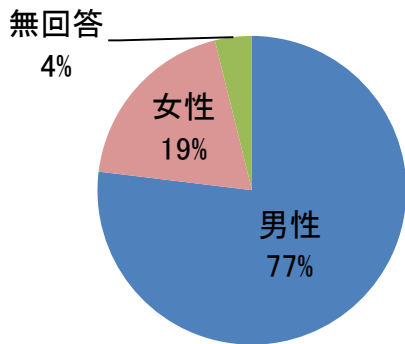
# JAXA タウンミーティング in 福井 開催報告

平成 26 年 9 月 14 日、福井市自然史博物館のご協力により、JAXA タウンミーティング in 福井「織維の町 福井から宇宙へ」を開催しました。今回は、広浜宇宙教育センター長と佐藤副グループ長から話題提供を行い、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

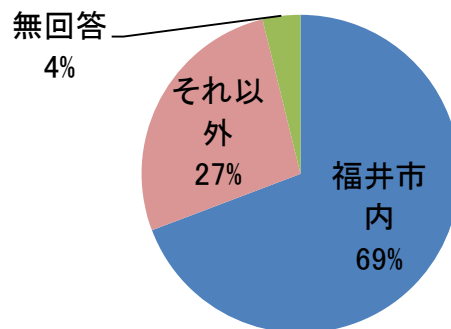
- 開催日時 平成 26 年 9 月 14 日（土） 14:00～16:30
- 会場 アオッサ 6 階 研修室 601ABC
- 参加者数 62 人
- 登壇者
  - ・第一部：広浜 栄次郎 JAXA 宇宙教育センター長  
「宇宙が子どもたちの心に火をつける～宇宙教育の推進～」
  - ・第二部：佐藤 勝 JAXA 有人宇宙ミッション本部 宇宙飛行士運用技術部  
宇宙飛行士健康管理グループ 副グループ長  
「日本人宇宙飛行士の活動を支える“衣・食・住”」
- 進行コーディネータ  
JAXA 広報部長 上垣内 茂樹

## アンケート回答者の属性（有効回答数：26）

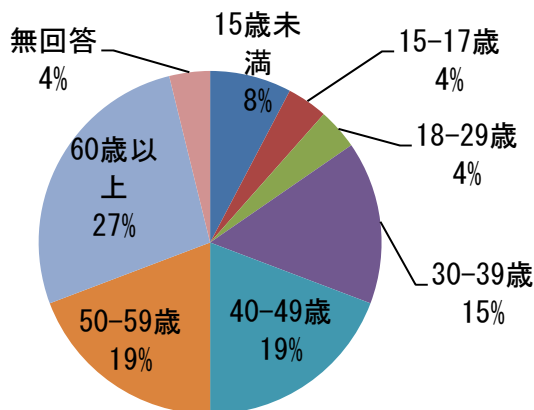
### 1. 性別



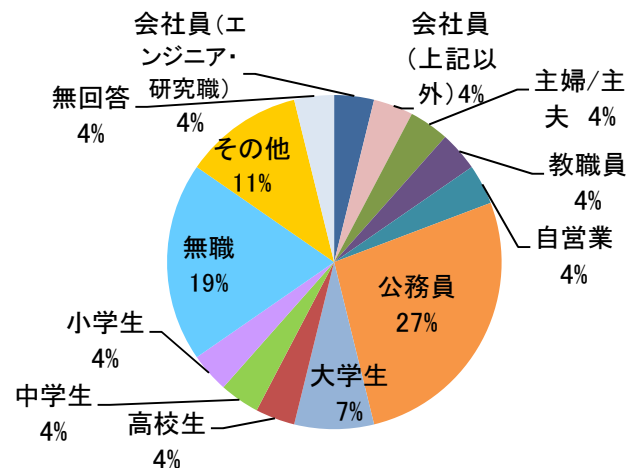
### 2. 居住地



### 3. 年齢



### 4. 職業



## 当日出た主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

### 「宇宙が子どもたちの心に火をつける～宇宙教育の推進～」

- ・ 教育の現場では、宇宙との距離がまだ遠いように感じる。（教員の方から）
- ・ 宇宙教育リーダ（SEL）の研修に参加し、宇宙への興味が深まった。できるだけ多くの開催、機会提供をお願いしたい。
- ・ JAXA の HP で教材を多く提供してほしい。特に宇宙飛行士が登場すると子供たちの興味関心も高まる。
- ・ 小さい子向けのものが多いが、高校では取組としてないのか。
- ・ 宇宙の魅力や宇宙開発の技術などをもっと講義していただいた方が興味を持てた気がする。
- ・ 興味を持ちやすい、わかりやすい題材だった。
- ・ 宇宙好きを育てるだけでなく、宇宙を素材として利用するという考えが新鮮だった。
- ・ 学校で宇宙に関連した授業をするのにいろいろな方法があると学べた。

### 「日本人宇宙飛行士の活動を支える“衣・食・住”」

- ・ 宇宙での船内服として綿とポリエステルに限っているようだが、埃や静電気の観点ではよいものではない。もう少し範囲を広げてはどうか。
- ・ 身近な食や衣服について宇宙ステーションでの話が興味深かった。福井の繊維がどのように使われているかもっと知りたかった。
- ・ 興味を持ちやすい身近でわかりやすい題材だった。
- ・ 人類代表の宇宙飛行士を助けるために、民間の技術も必要なんだと思った。
- ・ 宇宙事業への関わり方を知ることができた。

### タウンミーティング、その他について

- ・ 既に日本は宇宙関連に力を入れていると感じており、圧迫する国の予算の中で、現在の予算でより工夫をしながら活動を継続していただきたい。
- ・ 新しい技術の発展が、今後の少子化の日本を支えたり、子どもに夢や希望を与えると思う。
- ・ 宇宙分野の研究の民生分野での利用等を活発に進めていくべき。また、最先端の技術を開発し続けていくべき。
- ・ 有人ロケットや火星探査を進めてほしい。
- ・ 日本人の凄さを世界に発信してほしい。大人の頑張り、活躍している姿を、子どもたちにもっと見せてほしい。
- ・ 宇宙産業の分野は多くの産業が育つ事が期待され、原子力等に比べて特に子供たちにとって夢のある産業である。もっと政府が力を入れるべきだ。
- ・ 石川県でも高校生も受けられる講演会を行ってほしい。
- ・ たくさん学べて楽しかった。また福井で開催してほしい。
- ・ 宇宙関係の最新情報をテレビ番組などを通じてもっと知りたい。
- ・ 日本の技術による宇宙飛行士を乗せたロケットの打上げと宇宙遊泳の映像を是非期待する。
- ・ 同じ人ばかり発言していてつまらなかった。

